

# 工大一優勝 リーグ戦2連勝



【工大一—八学光星・八戸合同】第3ピリオド3分18秒、工大一は河口逞(左)がシュートを決め、8-0と突き放す=テクノルアイスパーク八戸

アイスホッケー  
青森県高校春季大会  
第50回青森県高校春季  
アイスホッケー大会第2  
日は23日、テクノルアイ  
スパーク八戸でリーグ戦  
1試合を行い、工大一が  
八学光星・八戸合同に8  
1-2で勝利した。工大一  
は2連勝で優勝を決め  
た。

工大一は第1ピリオド  
(P)、長野礼緒のゴー  
ルで先制すると、第2P  
までに5得点しリードを  
広げた。八学光星・八戸  
合同は第3Pに2点を挙  
げ反撃したが、及ばな  
かった。最終日の24日は同  
会場で八学光星・八戸合  
同—八戸工を行う。

(中山瑞希)

リーグ戦	
工大一	84-02 八学光星
(2勝)	1-0 八戸合
	3-2 同
	(1敗)

▽得点▶長野3、藤田、杉山、阿部2、河口(中)富田、加藤(八)  
▽補点▶大山2、ピラチット、河口3、豊後2、阿部、藤田(中)前田、五戸(八)

攻守に課題残り  
喜びの表情なく  
○…三つどもえのリー

グ戦で2勝し、優勝を決めた工大一。しかし、選手たちに喜びの表情はなかった。

第1ピリオド(P)で4-0と好スタートを切ったが、第2Pに攻撃のリズムが崩れ、走り負けで失速。1得点にとどまった。第3Pは開始3分で3点を挙げたが、以降は攻めきれずゴールを奪えなかった。2失点も痛恨で、「前日の八戸工戦も含め、簡単に攻められた。相手の方がきれいに点を取っていた」(石藤寿也監督)。

主将の藤田亘達は「全員でパスをつなげられなかった。弱い守備をより重視して練習し、全国大会で勝ち上がった方がいい」と力を込めた。